

高冷地域植物・動物・生物 生産生態学演習

夏の信州でフィールド科学を体験しませんか？

高冷地域植物生産生態学演習

令和5年8月21日(月)～8月24日(木)

野辺山農場及び構内農場で栽培される多くの園芸作物を教材に、近隣のJA施設、農家見学、加工実習などを通して、高冷地域における作物の栽培から収穫・出荷までを重点的に学びます。8/21～8/22は野辺山ステーションで、8/23～8/24は構内ステーションで実習を行います。



高冷地域動物生産生態学演習

令和5年8月28日(月)～8月31日(木)

近隣の牧場や畜産施設見学、飼料作物の管理、畜産物の加工、高冷地野菜の収穫などを通して、高冷地域における畜産と耕畜連携までを重点的に学びます。8/28～8/29は野辺山ステーションで、8/30～8/31は構内ステーションで実習を行います。



高冷地域生物生産生態学演習

令和5年9月4日(月)～9月7日(木)

野辺山農場及び構内農場において、演習では収穫体験を主として農から食への過程を体験的に学習し、園芸作物生産の基礎知識を習得します。高冷地域の植物生産と動物生産を複合的に学ぶことで、「食の安全、安心、安定生産」や「環境保全」などの分野に対する理解をより深めます。9/4～9/5は野辺山ステーションで、9/6～9/7は構内ステーションで実習を行います。



■全国の大学2年生以上が対象です。

高原野菜の生産・流通システムと家畜の飼養管理など、高冷地・準高冷地独特の農業生産流通システムなどを学びます。

実習場所▶▶信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター(AFC)

実習場所▶▶構内ステーション(長野県上伊那郡南箕輪村8304)

実習場所▶▶野辺山ステーション(長野県南佐久郡南牧村野辺山字ニツ山462-1)

集合場所▶▶信州大学農学部伊那キャンパス

宿泊▶▶各実習とも、1日目は野辺山ステーションに宿泊します。2日目、3日目の宿泊は不

参加費用▶▶要です。宿泊を要する学生には農学部構内もしくは近隣の宿泊施設を紹介します。

参加費用▶▶植物演習・生物演習/演習期間中の食費、宿泊費等(1,000～2,000円)を現地

参加費用▶▶で徴収します。

参加費用▶▶動物演習/演習期間中の食費、宿泊費、八ヶ岳牧場の利用料等(2,000～3,000

参加費用▶▶円)を現地で徴収します。

参加費用▶▶※各演習とも、集合場所までの交通費は自己負担です。

注意事項▶▶いずれか一つの実習を選択して下さい。応募者多数の場合は選考があります。

参加費用▶▶各回の詳しい内容はホームページをご覧ください。なお、コロナウイルスの感染状況、

参加費用▶▶天候等により、内容、日程の変更、実習の中止をする場合があります。

申込期限

令和5年

7月3日(月)

受講希望者は申し込み書類を信州大学農学部学務グループまでご提出下さい(メール提出不可)。

